ご挨拶

日独バイオマスデー
—木質バイオマス—

化石燃料の高騰や気候変動、エネルギー安全保障などの面から、再生可能エネルギーへの期待はかつてないほど高まっています。

なかでも大きな可能性を秘めているのが、木質バイオマスです。戦後植林した木が成熟し、我が国は世界でも有数の森林蓄積を誇るまでになりました。森林は全国どこにでもある資源であることから、木質バイオマス利用は地域にとって、またとないビジネスチャンスを提供しています。

木質バイオマスは日本では新しい分野であり、持続可能な形で本格的に利用していくためには、総合的な理論・技術の体系化が不可欠です。この点で参考になるのが、ドイツです。ドイツでは、2000年の電力の固定価格買取制度（FIT）導入を契機に、電力・熱利用ともに大幅に拡大しました。いまでは、再生可能エネルギーの5割を木質バイオマスが占めるまでになっており、バイオガスとあわせ、農山村に新しい富が生まれています。

本シンポジウムでは、第一線で活躍する日独の専門家や行政関係者を招き、木質バイオマスを本格的に普及させるための方策について、幅広く体系的な議論を行うとともに、会場を交えて意見交換を行います。

ご多用のこととは存じますが、是非お誘いあわせの上、ご参加を承りますよう、お願い申し上げます。

会場案内

東京会場　東京大学弥生講堂 一条ホール

盛岡会場　岩手大学工学部内 復興祈念銀河ホール

株式会社 富士通総研
（日独バイオマスデー事務局　北川、加藤）
〒105-0022　東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー 11階
TEL (03)5401-8417　FAX (03)5401-8395

ホームページからお申し込みください
http://jp.fujitsu.com/fri/

FUJITSU　ECOS

東京開催

「木質バイオマスのエネルギー利用」

日時：2013年11月5日(火) 10:00 ～ 17:00
会場：東京大学弥生講堂　一条ホール

盛岡開催

「東北復興と木質バイオマスのエネルギー利用」

日時：2013年11月8日(金) 10:00 ～ 17:00
会場：岩手大学工学部内　復興祈念銀河ホール

Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety
Federal Ministry of Food, Agriculture and Consumer Protection

shaping tomorrow with you

共催・後援一覧

東京開催

共催
株式会社富士通総研（FRI）
エコスコンサルタント

後援
農林水産省林野庁
ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省（BMU）
ドイツ連邦食料・農業・消費者保護省（BMELV）
東京大学
独立行政法人 森林総合研究所
木質バイオマスエネルギー利用推進協議会
再生可能資源専門エージェンシー（FNR）
ロッテンブルグ大学
ドイツバイオマス研究センター（DBFZ）
在日ドイツ商工会議所
株式会社森林環境リアライズ
NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）

盛岡開催

共催
岩手大学
株式会社富士通総研（FRI）
エコスコンサルタント

協賛
盛岡信用金庫
株式会社アトム環境工学
株式会社双葉設備アンドサービス

後援
農林水産省林野庁
岩手県
ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省（BMU）
ドイツ連邦食料・農業・消費者保護省（BMELV）
独立行政法人森林総合研究所
木質バイオマスエネルギー利用推進協議会
岩手・木質バイオマス研究会
再生可能資源専門エージェンシー（FNR）
ロッテンブルグ大学
ドイツバイオマス研究センター（DBFZ）
在日ドイツ商工会議所
岩手日独協会
株式会社森林環境リアライズ
NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）

東京開催

10:00 挨拶および導入講演	挨 拶	駐日ドイツ大使館
	「日本の森林バイオマスエネルギーの現状と課題」	林野庁長官　沼田　正俊
10:25 セッション 1	木質バイオマス利用に向けた政策	
	「日本のエネルギー政策の現状と課題：ドイツとの比較」	株式会社富士通総研　上席主任研究員　梶山　恵司
	「ドイツにおける再生可能エネルギー拡大におけるバイオマスエネルギーの役割」	ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省 国際部 環境・エネルギー、再生可能エネルギー国際協力室　副部長　ハラルド　ナイツェル　Harald Neitzel
	「ドイツにおけるバイオマスエネルギーの推進策」	ドイツ連邦食料・農業・消費者保護省 バイオエネルギーおよびエネルギー総括課　副課長　マイケ　ラースバッハ　Maike Raßbach
11:35 セッション 2	地域資源としての持続可能な木質バイオマス利用	
	「エネルギーシフトと地域のバイオマスエネルギーコンセプト:木質バイオマスの熱利用に向けた研究推進」	再生可能資源専門エージェンシー　副理事長　シュテッフェン　デベラー　Steffen Daebeler
	「持続可能な森林経営：木質バイオマスのエネルギー利用に向けた目標と前提条件」	ロッテンブルグ大学　造林学部　教授　セバスティアン　ハイン　Sebastian Hein
	「日本におけるバイオマスエネルギー利用推進に向けた課題」	木質バイオマスエネルギー利用推進協議会　会長　熊崎　実
12:50〜14:00	昼食休憩	
14:00 セッション 3	木質バイオマスエネルギー利用の技術	
	「バイオマスエネルギー利用に向けたサプライチェーン構築の課題」	東京大学　大学院農学生命科学研究科　教授　酒井　秀夫
	「ドイツ再生可能エネルギー法（EEG）の波及効果による技術開発の事例」	ドイツバイオマス研究センター　バイオエネルギー供給部門スポークスマン　アレクサンダー　クラウツ　Alexander Krautz
	「木質バイオマスエネルギー利用における日本の技術課題」	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社　環境・エネルギー部　副主任研究員　相川　高信
	「熱供給のための中小規模木質バイオマスボイラー技術：日本における経験」	ノルティング木燃焼技術社　代表取締役社長　ヨアヒム　エッガース　Joachim Eggers
		株式会社 NERC（自然エネルギー研究センター）　代表取締役センター長　大友　詔雄
	「半炭化高カロリーペレット：日独共同研究の選択肢」	ドイツバイオマス研究センター　熱化学的変換技術部　部長　フォルカー　レンツ　Volker Lenz
16:00 パネルディスカッション	「木質バイオマス利用における日独連携の可能性」	
16:50	閉会の辞	株式会社富士通総研　取締役執行役員常務　徳丸　嘉彦
17:00	終 了	

モデレーター：株式会社富士通総研　梶山 恵司、エコスコンサルタント　Peter Beck（ペーター・ベック）

盛岡開催

10:00	挨 拶	岩手県庁 駐日ドイツ大使館 岩手大学
10:20 セッション 1	ドイツにおける地域の再生可能エネルギーの戦略と政策	
	「ドイツにおける再生可能エネルギー拡大におけるバイオマスエネルギーの役割」	ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省 国際部 環境・エネルギー、再生可能エネルギー国際協力室　副部長　ハラルド　ナイツェル　Harald Neitzel
	「ドイツにおけるバイオマスエネルギーの推進策」	ドイツ連邦食料・農業・消費者保護省 バイオエネルギーおよびエネルギー総括課　副課長　マイケ　ラースバッハ　Maike Raßbach
11:20 セッション 2	岩手県における復興の現段階と再生可能エネルギーの取り組み	
	「岩手県の被災状況と復興の現段階」	岩手県 復興局 総務企画課　計画担当課長　小野　博
	「岩手県の再生可能エネルギーへの取り組み」	岩手県 環境生活部 環境生活企画室　温暖化・エネルギー対策課長　高橋　喜勝
	「木質バイオマス利用の取り組みと課題」	岩手大学　農学部共生環境課程　准教授　伊藤　幸男
12:20〜13:20	昼食休憩	
13:20 セッション 2（続）	岩手県における復興の現段階と再生可能エネルギーの取り組み	
	「紫波町オガールプロジェクトの取り組み」	紫波町産業部　部長　小田島　栄太郎
	「大震災による林業への影響」	森林総合研究所　東北支所　所長　駒木　貴彰
14:00 セッション 3	地域に適用可能な技術と制度、持続可能性	
	「持続可能な森林経営：木質バイオマスのエネルギー利用に向けた目標と前提条件」	ロッテンブルグ大学　造林学部　教授　セバスティアン　ハイン　Sebastian Hein
	「エネルギーシフトと地域のエネルギーコンセプト：木質バイオマスの熱利用に向けた研究推進」	再生可能資源専門エージェンシー　副理事長　シュテッフェン　デベラー　Steffen Daebeler
	「ドイツ再生可能エネルギー法によって進展した各種技術開発の紹介」	ドイツバイオマス研究センター　バイオエネルギー供給部門スポークスマン　アレクサンダー　クラウツ　Alexander Krautz
15:15	「熱供給のための中小規模木質バイオマスボイラー技術：日本における経験」	ノルティング木燃焼技術社　代表取締役　ヨアヒム　エッガース　Joachim Eggers
		株式会社 NERC（自然エネルギー研究センター）　代表取締役センター長　大友　詔雄
15:40 パネルディスカッション	テーマ 1　「木質バイオマス利用における岩手・ドイツ連携の可能性」 テーマ 2　「地域における木質バイオマス利用普及の方策」	
17:00	閉会の辞	
17:10	終 了	

モデレーター：株式会社富士通総研　梶山 恵司、岩手県農林水産部　橋本 卓博、エコスコンサルタント　Peter Beck（ペーター・ベック）